



助産師主導のケア——すべての女性の第一選択

背景

世界各地で、助産、助産師が自由に助産サービスとケアモデルを提供することが明らかに脅かされている。これは、助産師主導ケアへのアクセスこそが「妊産婦・新生児の健康アウトカムの向上¹」を達成する唯一最大の要素であるという認識があるにもかかわらずである。

助産師主導のケアモデルは、妊娠・出産・産後の期間が、母親と乳幼児にとって通常のライフイベントであるという前提に立っている。これは女性中心のモデルであり、出産周期全体を通じた女性と家族が身体的、心理的、精神的、社会的にも健康であるように見守るケアの継続性が、決定的に重要であるという信念に基づいたモデルである。助産師主導のケアモデルでは、個別の教育・カウンセリング・出産前ケアに加え、陣痛・出産・産褥期の一貫したケア、産後の継続的な支援を女性に提供することができる。技術的な介入は最小限とし、産科あるいは他の専門医の治療が必要な女性については適切な紹介を行う。助産師は、ケアの調整および妊産婦サービスを提供する他の医療従事者との連携において、中心的な役割を果たす。

このような助産師主導のケアにはメリットはあり害がないというエビデンスが、増えてきている。具体的には、女性の満足度、自己統制感（*perception of control*）の高さ、経膈分娩の増加と医療介入の減少が示されている。助産師主導のケアを受ける女性は、顔見知りの助産師が出産に立ち会う可能性が8倍近く高く、24週間以内に子を失う可能性が21%低く、局所麻酔を使う可能性が19%低く、吸引・鉗子分娩になる可能性が14%低く、会陰切開の可能性が18%低く、自然経膈分娩・授乳開始・出産中の自己統制感が有意に高い²。

¹ Hatem M, Sandall J, Devane D, Soltani H, Gates S. Midwife-led versus other models of care for childbearing women. Cochrane Database of Systematic Reviews 2008, Issue 4. Art. No.: CD004667

² Maassen MS, Hendrix MJC, Van Vugt HC, Veersema S, Smits F, Nijhuis JG. Operative deliveries in low-risk pregnancies in The Netherlands: primary versus secondary care. *Birth*. 35:4 december 2008, 277-82

所信声明

助産師は妊産婦と母親・新生児への最適なケア提供者であるので、助産師が最初に関わる相手（first contact）となるべきである。助産師主導のケアにはエビデンスに基づくメリットがあり危害がないというエビデンスが、妊産婦ケアのモデルとして最適であるという主張の裏付けとなる。特に昨今の世界的な経済状況においては、助産師主導のケアはコスト効果が高く持続可能なケアであると、ICMは考える。

会員協会への指針

女性に助産師主導ケアへのアクセスがない国のICM会員協会には、女性および他の利害関係者と協力して、このケアモデルの開発を政府に働きかけることを勧める。助産師主導のモデルは、安全かつ高品質のケアを提供する。助産師主導のケアが既に存在する国の会員協会に対しては、女性および他の利害関係者と協力して、このケアモデルのさらなる発展と維持に努めることが望まれる。

関連 ICM 文書

ICM 所信声明 2011年 正常な妊娠、出産、産褥期のための適切な出産サービス

ICM 所信声明 2011年 自宅出産

その他の関連文書

Hatem M, Sandall J, Devane D, Soltani H, Gates S. 2008. Midwife-led versus other models of care for childbearing women. *Cochrane Database of Systematic Reviews*.

Issue 4. Art. No.: CD004667.

Maassen MS, Hendrix MJC, Van Vugt HC, Veersema S, Smits F, Nijhuis JG. 2008.

Operative deliveries in low-risk pregnancies in The Netherlands: primary versus secondary care. *Birth*. 35:4 december 2008, 277-82

2011年ダーバン国際評議会にて採択

次回改訂予定 2017年